



# 2025年12月期 第3四半期 決算説明会

2025年11月5日

ヤマハ発動機株式会社  
(証券コード:7272)

「ジャパンモビリティショー2025」へ出展  
世界初披露のワールドプレミア6モデルを含む計16モデルを展示



# 2025年12月期 第3四半期決算

執行役員 橋本 満

## 業績予想について

この説明資料内で述べられているヤマハ発動機株式会社の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したもので、リスクや不確実性を含んでいます。

実際の業績は、様々な要因の変化により大きく異なることがありますことをご承知おき下さい。

実際の業績に影響を及ぼす可能性がある要因には、主要市場における経済状況及び製品需要の変動、為替相場の変動等が含まれます。

# 概要説明

## 2025年3Q累計実績

売上収益 19,103億円 (前年比 97%)、営業利益1,124億円 (前年比 56%)

- コア事業の二輪車は3Q単独において増収増益を達成。船外機の販売台数は前年並みで推移
- 成長に向けた開発投資の増加に加え、OLV事業の固定資産の減損損失、米国での関税影響などにより減益
- SPV事業はYMESG※を連結し、統合プロセスを開始。規模拡大とシナジー創出を目指す

※Yamaha Motor eBike Systems:2025年3月に設立。独自動車部品メーカー「Brose社」の自転車用ドライブユニット(e-Kit)事業子会社を買収

## 今後の見通し

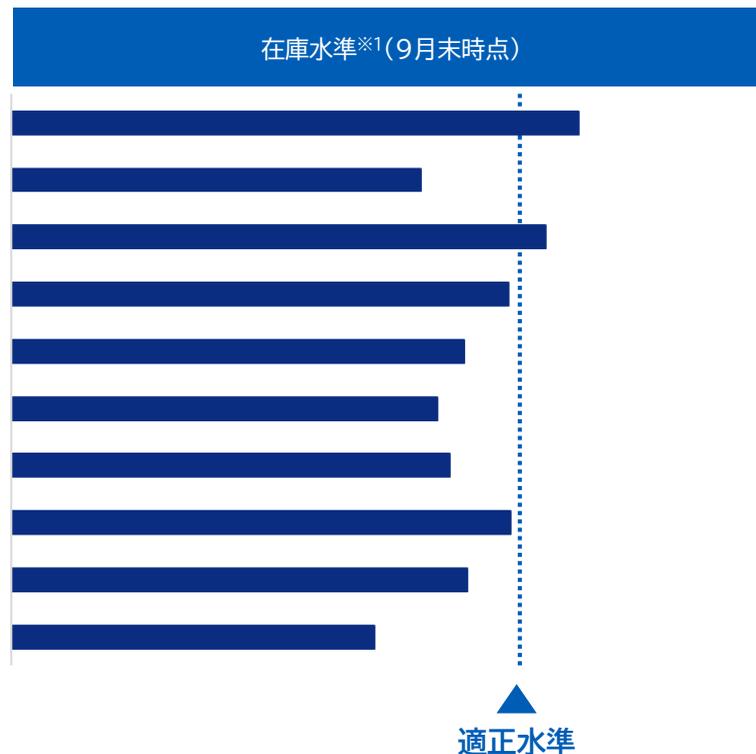
通期見通しは修正予想(2Q発表)を据え置き

- 世界的な政策動向や金融環境の変化、米国での関税影響により、依然として事業環境は厳しい状況が継続
- コア事業を軸とした戦略の推進とコスト管理の徹底、投資の選択と集中を進める

# 主要商品別 当社出荷台数・在庫（2025年3Q累計）

- 二輪車は上期に引き続きインドネシア、タイ、フィリピンで需要以上に出荷が好調
- 船外機は欧米を中心に出荷が増加
- 需給管理の徹底により、在庫水準の適正化を図る

商品/地域		総需要 (2024年比)	出荷台数 (2024年比)
二輪車	欧州・米国・日本	94%※2	98%
	インドネシア	94%	102%
	タイ	102%	117%
	ベトナム	101%	66%
	フィリピン	113%	115%
	インド	100%	95%
	ブラジル	114%	93%
	船外機※3	北米・欧州	95%
ATV+ROV	北米	100%	86%
SPV※4	全世界	-	105%
マウンター	全世界	110%	90%



※1:流通在庫(二輪車・ATV+ROVは見直し、船外機は過去実績) ※2:欧州主要五カ国

※3:在庫水準、総需要は米国のみ ※4:在庫水準は当社在庫 (e-Kit)のみ

## 2025年3Q累計 経営状況

- WV、OLV事業の販売台数減少により減収。研究開発費・販売管理費・固定資産減損損失の増加、米国関税影響により減益

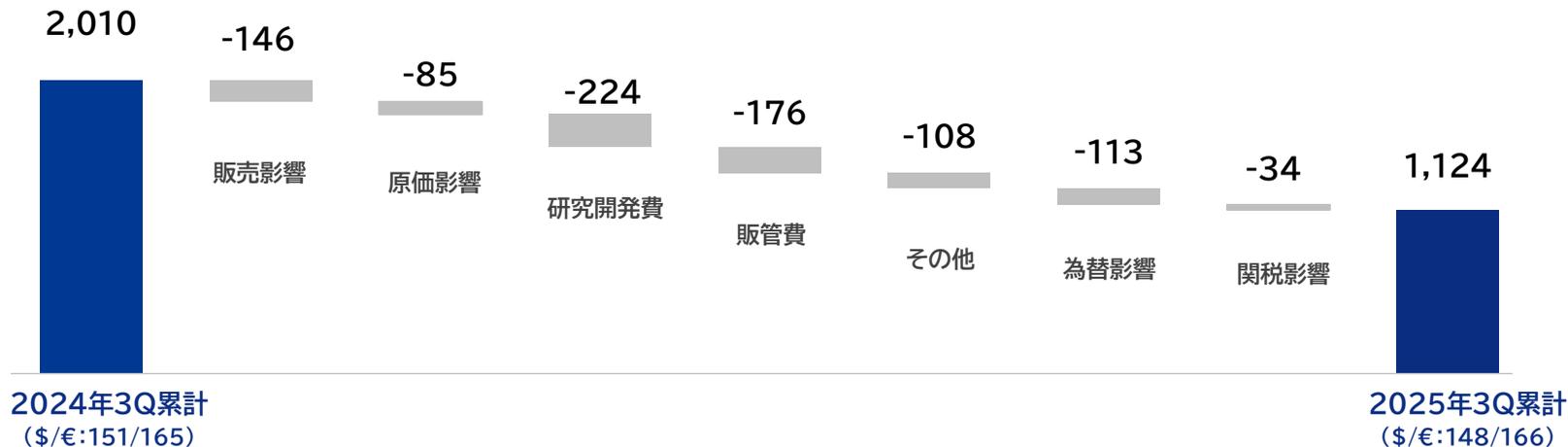
	2024年 3Q累計 (億円)	2025年		2025年 通期修正予想
		3Q累計	前年比	
売上収益	19,769	19,103	97%	25,700
営業利益	2,010	1,124	56%	1,200
営業利益率	10.2%	5.9%	-4.3pts.	4.7%
当期利益※	1,361	434	32%	450
EPS(円)	138.49	44.65	32%	46.34
(\$/€)	151/165	148/166	—	147/161

※親会社の所有者に帰属する当期利益

# 2025年3Q累計 営業利益変動要因

- 販売規模減少、固定資産の減損損失、研究開発費、人件費などの販売管理費の増加により減益

(億円)



## 販売影響内訳

規模増減	-120	プライシング	+389
金融サービス	+10	その他	-424

## 原価影響内訳

コストダウン	+147
コストアップ	-233

## 研究開発費用内訳

人件費	-41
その他	-183

## 販管費内訳

人件費	-97
物流費	-9
営業費用	-14
その他	-57

## その他内訳

持分法投資損益	+19
その他	-126

## 関税影響

影響額(グロス)	-54
対策額	+20

# 成長に向けた取り組み

## 新価値創造の推進

### 「ジャパンモビリティショー2025」出展



**MOTOROiD: A**  
モトロイド ラムダ (参考出展車)

AI技術によって学習し、自ら成長するモビリティ。仮想環境で学習し、現実世界での動作を実現



**PROTO HEV**  
プロト ハイブリッド イービー (参考出展車)

「静」と「動」、異なる2つの動力性能を自在に操る喜びを提供するシリーズ・パラレル・ハイブリッドモデル



**TRICERA proto**  
トライセラ プロト (参考出展車)

新たなドライビングプレジャーを提案する、3輪パッケージのフルオープンEV



**H2 Buddy Porter Concept**  
エイテツォー バディ ポーター コンセプト (参考出展車)

水素エンジン搭載二輪車の社会実装を目指し、トヨタ自動車(株)と共同開発中のコンセプトモデル

# 事業別説明

# 2025年3Q累計 事業別 売上収益・営業利益

## 売上収益

(億円)	2024年	2025年	
	3Q累計	3Q累計	前年比
ランドモビリティ	12,457	12,280	99%
MC※1	12,170	12,005	99%
SPV	287	275	96%
マリン	4,155	3,993	96%
OLV※2	1,378	1,114	81%
ロボティクス	775	759	98%
金融サービス	842	840	100%
その他※2	162	117	72%
全社	19,769	19,103	97%

## 営業利益

(億円)	2024年	2025年	
	3Q累計※3	3Q累計	前年比
ランドモビリティ	1,165	889	76%
MC※1	1,300	940	72%
SPV	-135	-51	-
マリン	793	492	62%
OLV※2	-21	-263	-
ロボティクス	-22	-25	-
金融サービス	157	135	86%
その他※2	-63	-104	-
全社	2,010	1,124	56%

期中平均為替レート(\$/€):2024年3Q累計(151/165)、2025年3Q累計(148/166)

※1: 2025年より、二輪車事業は、MC(Motorcycle)事業に名称変更しました。

※2: 2025年より、RV(Recreational Vehicle)事業およびその他事業のGC(Golf Car)事業を統合し、OLV(Outdoor Land Vehicle)事業を新設しました。

またGC事業は、LSM(Low Speed Mobility)事業に名称変更しました。

# MC事業 / マリン事業

## MC事業

実績

モデルミックスの悪化や未実現利益、研究開発費や販売管理費の増加により減益。3Q単独では増収増益

営業利益率

10.7%

7.8%

売上収益  
(億円)

■ 先進国 ■ アジア ■ 中南米・その他



## マリン事業

実績

WVの販売減少、研究開発費や販売管理費の増加、米国関税影響により減収減益

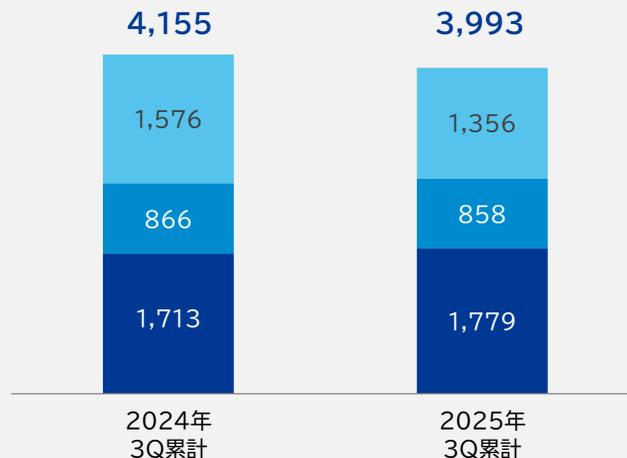
営業利益率

19.1%

12.3%

売上収益(億円)

■ 船外機・北米欧州 ■ 船外機・その他 ■ WV・ボート等



## スーパースポーツモデル「YZF-R9 ABS」新発売



# 北米向けウォータービークルの新製品「CROSSWAVE」



# SPV事業/ロボティクス事業

## SPV事業

### 実績

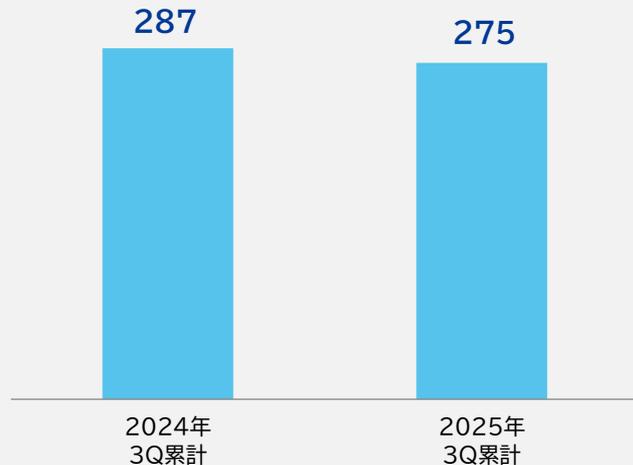
国内完成車、e-Kitの販売台数は増加もモデルミックスの影響で減収。販売管理費の減少と前年の在庫評価減の反動で赤字幅縮小

営業利益率

-46.9%

-18.5%

売上収益  
(億円)



## ロボティクス事業

### 実績

半導体製造後工程装置の販売は増加もマウンターの減少により売上収益は前年並みも減益

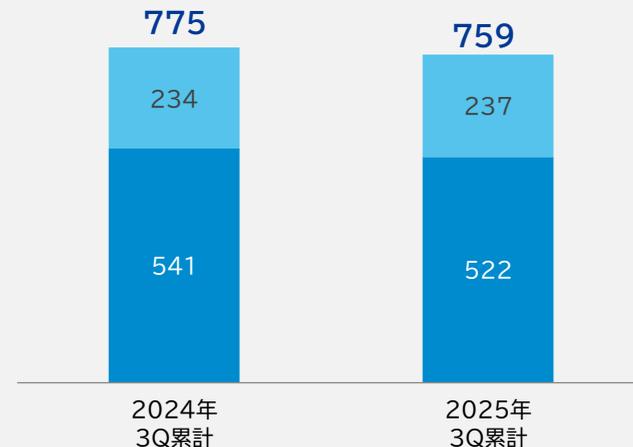
営業利益率

-2.9%

-3.3%

売上収益  
(億円)

■ サーフェスマウンター等 ■ 半導体製造後工程装置



# OLV事業/金融サービス事業

## OLV事業

### 実績

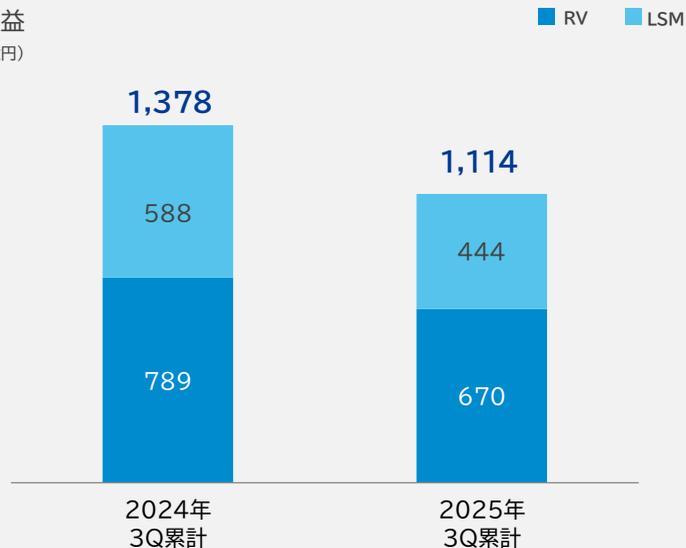
RV・LSMともに販売台数減少、販売管理費の増加、固定資産の減損損失により減収・減益

営業利益率  
(うち RV)

-1.5%(-11.1%)

-23.6%(-31.8%)

売上収益  
(億円)



## 金融サービス事業

### 実績

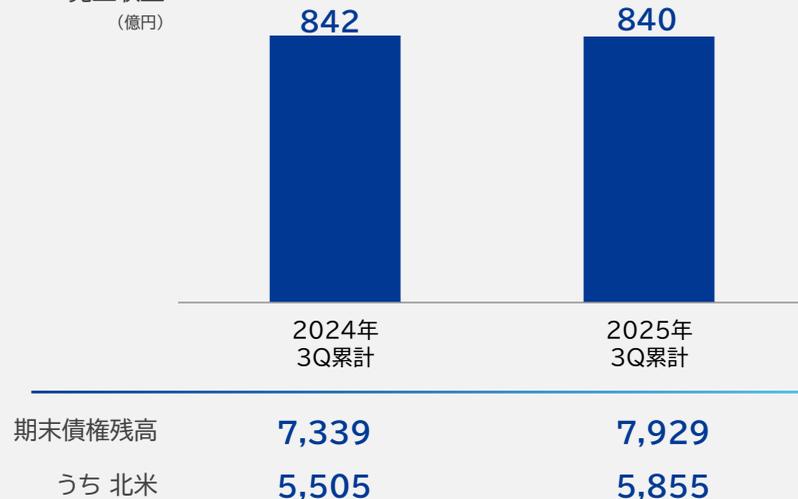
債券残高増加も為替影響により売上収益は前年並み、金利スワップ評価損により減益

営業利益率

18.7%

16.1%

売上収益  
(億円)





# 地域別販売台数・売上収益/営業利益変動要因

MC

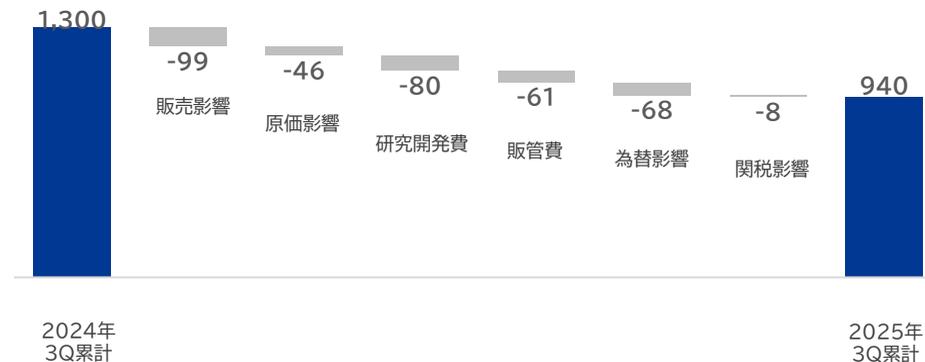
## 販売台数

	2024年	2025年	
	(千台) 3Q累計	3Q累計	前年比
日本	54	63	116%
北米	68	63	92%
欧州	189	179	94%
アジア	2,932	2,958	101%
その他	543	547	101%
全社	3,786	3,808	101%

## 売上収益

	2024年	2025年	
	(億円) 3Q累計	3Q累計	前年比
日本	333	325	98%
北米	738	689	93%
欧州	2,012	1,950	97%
アジア	6,703	6,691	100%
その他	2,385	2,349	98%
全社	12,170	12,005	99%

## 営業利益変動要因



# 地域別販売台数・売上収益/営業利益変動要因

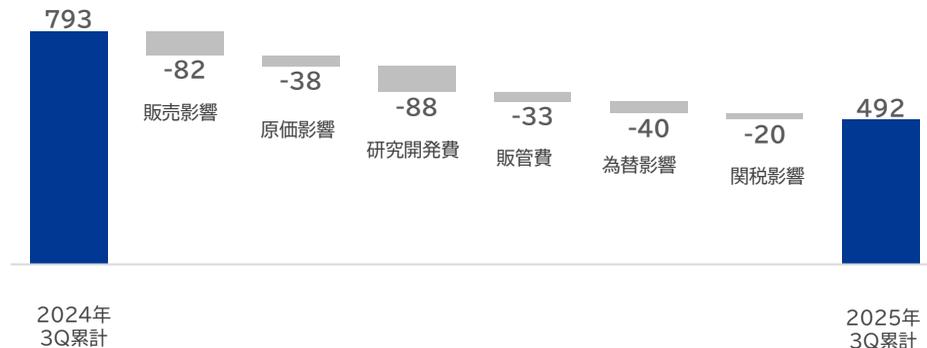
## 販売台数(船外機)

	2024年	2025年	
	(千台) 3Q累計	3Q累計	前年比
北米	65	70	107%
欧州	25	27	110%
その他	116	109	94%
全社	206	206	100%

## 売上収益

	2024年	2025年	
	(億円) 3Q累計	3Q累計	前年比
日本	285	283	99%
北米	2,444	2,241	92%
欧州	522	558	107%
アジア	335	337	100%
その他	569	574	101%
全社	4,155	3,993	96%

## 営業利益変動要因



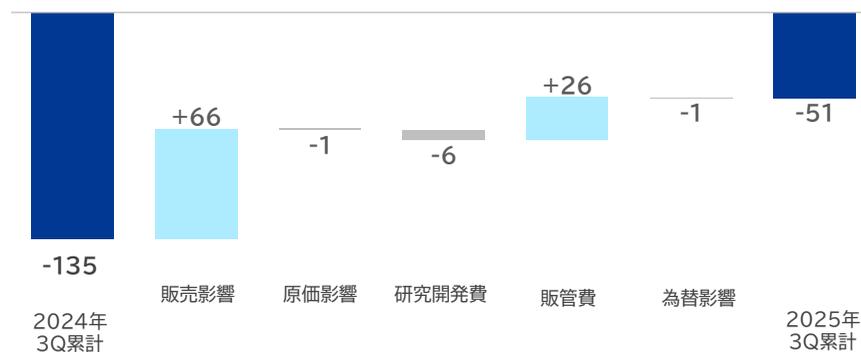
# 地域別販売台数・売上収益/営業利益変動要因

SPV

## 売上収益

	2024年	2025年	
	(億円) 3Q累計	3Q累計	前年比
全社	287	275	96%

## 営業利益変動要因

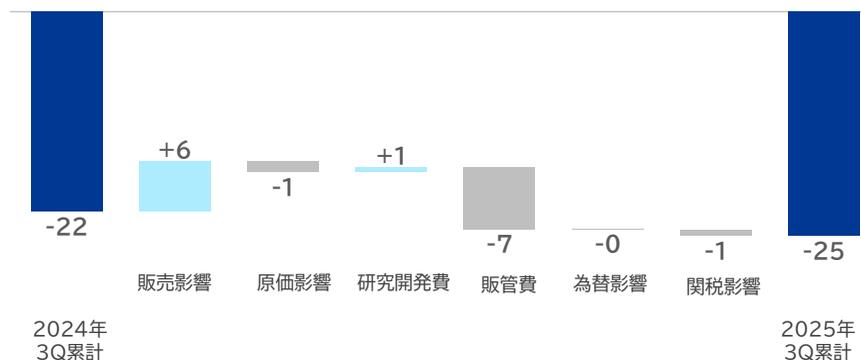


ロボティクス

## 売上収益

	2024年	2025年	
	(億円) 3Q累計	3Q累計	前年比
日本	182	215	118%
北米	42	24	58%
欧州	56	36	64%
アジア	490	477	97%
その他	5	7	143%
全社	775	759	98%

## 営業利益変動要因



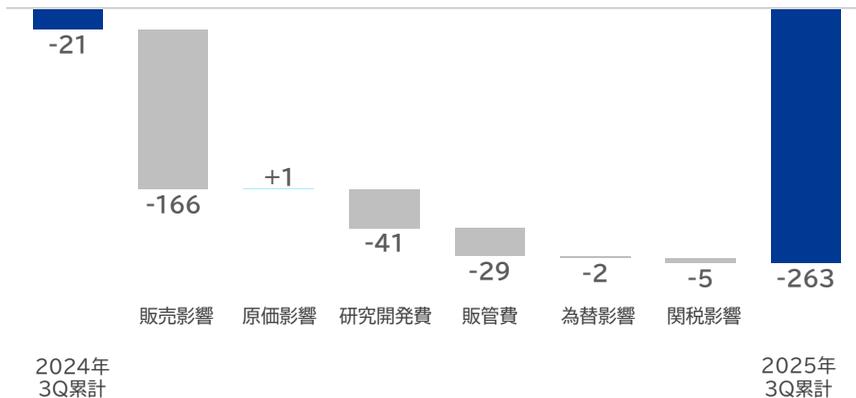
# 地域別売上収益/営業利益変動要因

OLV

## 売上収益

		2024年	2025年	
(億円)		3Q累計	3Q累計	前年比
RV	北米	528	413	78%
	その他	262	257	98%
	計	789	670	85%
LSM	北米	413	305	74%
	その他	175	139	79%
	計	588	444	75%
全社		1,378	1,114	81%

## 営業利益変動要因



# 財務状況

(億円)	2024年 3Q累計	2025年 3Q累計
営業活動によるCF	1,918	1,542
投資活動によるCF	-955	-729
フリーCF	964	812
財務活動によるCF	-875	-642
設備投資	769	750
減価償却費	618	632
研究開発支出	944	1,158

(億円)	2024年 12月末	2025年 9月末
現金及び現金同等物 期末残高	3,730	3,786
有利子負債※ 期末残高	9,520	9,780
ネットキャッシュ	-5,790	-5,994
ネットキャッシュ(金融サービス事業除く)	-198	-539

※有利子負債にはリース負債を含めておりません。

## 為替影響(対前年、通期修正予想)

(億円)	2025年3Q累計			
	US \$	EURO	その他	合計
粗利益にかかる為替影響(本社)	-40	-0	-22	-62
粗利益の換算影響(海外子会社)	-23	2	-106	-127
販管費の換算影響	23	-3	60	79
その他の換算影響	1	0	-4	-3
営業利益への為替影響	-39	-1	-73	-113
(億円)	US \$	EURO		
為替感応度 1円の変動が営業利益に与える影響額		12		7

